

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業名		小学校音楽鑑賞教室					所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	64	計画事業名	子どもの文化教育の充実			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] I-3. 文化が息づく豊かな生活の創出								
		[小 柱] (4)文化に親しむ環境づくり								
		[施 策] ①文化に触れる機会の充実								
	根拠法令等	その他		[法令等名]	学習指導要領			[事業開始]	年度	
	事業対象	区立小学校5年生								
	事業目的	区立小学校の児童がオーケストラの演奏を鑑賞することにより、情操豊かな児童の育成及び鑑賞態度を身に付けさせる。								
	事業内容	オーケストラの演奏を鑑賞する機会を与え、そのよさを理解するとともに鑑賞のマナーを学ぶ。(学習指導要領に位置付けられている) (会場) 東京藝術大学 奏楽堂								
委託の有無	なし		委託内容							
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度		
	活動指標	開催回数		(回)	2	2	2	2		
		参加児童数		(人)	1,105	1,083	1,010	1,036		
	決算額 (単位:千円)					2,017	2,017	2,023		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				255	241	178		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				79	79	79		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				1,938	1,938	1,944		
		総経費				2,272	2,258	2,201		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0		
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0		
一般財源(区負担額)				2,272	2,258	2,201				
前回評価から改善した事項	なし									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	学習指導要領に基づく、児童の情操教育の推進を目的とした事業である。通常の授業では得ることのできない経験を児童たちに与える機会となっており、保護者等地域からの実施要望も依然として高い。							
	効率性	3	1日2回公演を実施し、より多くの児童が鑑賞できるよう工夫している。また、中学校2年生を対象とした音楽鑑賞教室とあわせて実施しており、効率的である。コスト面においても、演目による費用の比較を行うなど効率的な運営に努めている。							
	手段の適切性	4	曲目に関しては、学校教員と東京藝術大学で協議を行い、児童が聞きやすく、参加しやすいものを考慮して選曲し公演を行っている。区が持つ芸術資源の活用という意味においても適切である。中学生のコンクール受賞者による演奏をプログラムに組み込むなどにより、児童の興味を引く取組を行っている。							
	目的達成度	3	対象となる児童ほぼ全員に鑑賞機会を提供することができる。							
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)						評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
日常では触れる機会の少ない音楽でも興味を持って参加できるよう、学校の音楽教育と鑑賞する曲目の関連性を図る等工夫をすることで、普段なじみの無い児童でもオーケストラの演奏を身近に感じることができる本事業は教育上の効果は高く、継続して事業を実施していく。							維持			